

# 東京創元社

## 2021年 新刊ラインナップ

### 海外ミステリ Lineup for 2021 : Foreign Mysteries

1	<b>The Stranger Diaries</b> ※原題	創元推理文庫
	エリー・グリフィス	上條 ひろみ 訳
		2021年7月
	【アメリカ探偵作家クラブ（MWA）最優秀長編賞受賞作】イギリスの学校で女性教師が殺害された。現場には、ヴィクトリア朝時代の幻想怪奇短編に繰り返し登場する文章が残されていた。犯人は短編になぞらえて見立て殺人をおこなっているのか？ 有名ミステリやホラーが多数登場し、本が物語の重要な鍵になる傑作謎解きミステリ！	
	著者紹介：1963年ロンドン生まれ。法考古学者ルース・ギャロウェイを主人公とするシリーズと、1950年のブライトンを舞台に警部補エドガー・スティーヴンスとマジシャンのマックス・メフィストが活躍するシリーズを主に執筆している。2016年度のCWA賞図書館賞受賞。	
2	<b>A Good Girl's Guide to Murder</b> ※原題	創元推理文庫
	ホリー・ジャクソン	服部 京子 訳
		2021年8月
	イギリスの小さな町に住むピッパは、グラマースクール最上級生に課される自由研究の題材に、5年前に起きた17歳の少女失踪事件を選んだ。少女を殺害して自殺したと発表された少年の無実を証明するために、脅迫され危険な目にあっても、ピッパは粘り強く真相を追う。犯人当ての楽しさを満喫できる青春ミステリ！	
	著者紹介：1992年生まれ。イングランド南東部のバッキンガムシャー出身。本書がデビュー作。現在はロンドンに住む。	
3	<b>『幸運は死者に味方する』</b> <b>Fortune Favors the Dead</b>	創元推理文庫
	スティーヴン・スポッツウッド	法村 里絵 訳
		2021年3月
	1945年のニューヨーク、ハロウィン・パーティ中の大邸宅の閉ざされた書斎で、女主人が水晶玉で撲殺された。直前に開かれた交霊会が、事件にどのように関係しているのか？ ニューヨークきっての探偵と元サーカス団員の助手、母と娘ほど年齢の離れたコンビの活躍を描くミステリ・シリーズ第1弾！	
	著者紹介：脚本家、ジャーナリスト。本書が小説デビュー作。ワシントンに妻と暮らす。	

4	<b>All the Beautiful Lies</b> ※ <b>原題</b>	創元推理文庫
	ピーター・スワンソン	務台 夏子 訳
	2021 年内	
	大学生のハリーは父親の事故死の知らせを受けて急遽帰省した。父は散歩していて海に転落したらしいが、刑事の話では鈍器で殴られていた。ハリーは継母の態度に違和感を覚え……。過去と現在を入り混ぜながら描く二部構成で、最初の印象がある場面でがらりとくつがえる！ 著者の恐るべき構成力を存分に堪能できる、これぞ傑作！	
	著者紹介：アメリカ、マサチューセッツ出身。2014年に『時計仕掛けの恋人』でデビュー。2015年に刊行された『そしてミランダを殺す』は、英国推理作家協会（CWA）賞のイアン・フレミング・スチールダガー部門で最終候補となった。その他の著作に『ケイトが恐れるすべて』がある。	

5	<b>The Sleeping Tiger</b> ※ <b>原題</b>	創元推理文庫
	D・M・ディヴァイン	中村 有希 訳
	2021 年 5 月	
	法廷ではひとりの男がまもなく始まる裁判を待っていた。男は弁護士だが、この場所にいるのは6年前に起きた殺人事件の、ほぼ有罪が確定した被告としてだった。そう、6年前、駆け出しの弁護士だった男は、ある女性と出会う。それがすべての始まりだった……。迫真の法廷劇と謎解きが合わさった、ディヴァイン中期の傑作登場。	
	著者紹介：1920年スコットランド生まれ。大学職員時代、英国有数のミステリ出版社コリンズ社の探偵小説コンクールに投じた『兄の殺人者』がアガサ・クリスティから高く評価され、執筆活動に入る。デビュー以降もアントニイ・パウチャー、H・R・F・キーティングら具眼の士より絶賛される、極めて完成度の高い本格作品をものした。死後出版の『ウォリス家の殺人』を含め、その生涯で13作の推理小説を発表した。1980年没。	

6	<b>『ゴールドマン家の悲劇』</b> ※ <b>仮題</b> <b>Le Livre des Baltimore</b>	創元推理文庫
	ジョエル・ディケール	橘 明美・荷見明子 訳
	2021 年内	
	『ハリー・クバート事件』で大ベストセラー作家となったマーカス・ゴールドマン。弁護士の裕福な伯父夫妻のボルティモアのゴールドマン家に彼は憧れていたが、晩年の伯父は一人貧しく暮らしていた。体の弱かったいとこ、スポーツ万能の養子、そしてマーカス。ゴールドマン家の悲劇と崩壊の謎を描く成長小説ミステリ。	
	著者紹介：1985年、スイスのジュネーヴ生まれ。ジュネーヴ大学法学部卒。2005年に作家デビュー。第2作『ハリー・クバート事件』で大ベストセラー作家となる。本作は3作目。	

7	<b>『誘拐 P分署捜査班』</b> <b>Buio</b>	創元推理文庫
	マウリツィオ・デ・ジョバンニ	直良 和美 訳
	2021 年 5 月	
	美術館から9歳の少年が消えた。激昂しやすいローマーノと気取り屋アラゴーナのコンビが捜査を進めるうち、誘拐事件の可能性が高くなる。いっぽうロヤコーノ警部は、奇妙な空き巣を担当。さらに副署長が調べる一連の自殺案件にも新たな展開が……。同時進行する事件を型破りな刑事たちが追う、〈21世紀の87分署〉シリーズ第2弾！	
	著者紹介：イタリアの作家。1958年ナポリ生まれ。2005年に作家デビュー。翌2006年に始まった〈警察長官リチャルディ〉シリーズで人気を博し、2012年スタートの本書を含む〈ロヤコーノ警部〉シリーズでその人気は不動のものに。〈ロヤコーノ警部〉シリーズはイタリア国营放送（RAI）でドラマ化され、第3シーズンが製作中である。	

8	『ワニの町へ来たスパイ 4』 ※仮題 Swamp Team 3	創元推理文庫
	ジャナ・デリオン	島村 浩子 訳
	2021 年秋	
	シンフルの町で今度は放火事件が発生。わたしの初めての同年代の友人、アリーの家が燃やされたのだから、黙って見てはられない！ 人口数百人の町で身分を偽り暮らすCIAスパイ・フォーチュンとその友人のおばあちゃんコンビ、三人が無双の活躍を繰り広げる痛快ミステリ〈ワニ町〉シリーズ第4弾、熱烈な読者の声にこたえて登場！	
	著者紹介：ルイジアナ州カルカシュー郡カーライスに生まれる。2006年に長編Rumble on the Bayouで作家デビュー。現在はテキサス州ダラスに住み、ルイジアナを主な舞台としたミステリのシリーズを複数執筆している。	

9	『憐れみをなす者』 Act of Mercy	創元推理文庫
	ピーター・トレメイン	田村 美佐子 訳
	発売中	
	フィデルマが単身巡礼として乗った船には、かつての恋人が乗っていた。波乱ぶくみの船旅だったが、そんななか、乗客の修道女が行方不明に。最初海に落ちたと思われていたが、その後船室から血のついた衣が見つかり……。7世紀アイルランドを舞台に、美貌の修道女フィデルマが活躍するシリーズ第8作。	
	著者紹介：1943年英国生まれ。本名はピーター・ベレスフォード・エリス。ケルト関係の学術書を数多く著し、学会の会長や理事もつとめる著名なケルト学者でもある。また小説家としても精力的に活動しており、ピーター・トレメイン名義の代表作〈修道女フィデルマ〉シリーズをはじめ、ホラーやファンタジー、ピーター・マッカラン名義のスリラーなどを刊行している。	

10	『殺人者の手記』 ※仮題 En Helt Annan Historia	創元推理文庫
	ホーカン・ネッセル	久山 葉子 訳
	2021 年 4 月	
	「エリック・ベリマンの命を奪うつもりだ。きみに止められるかな？」シムリング署のバルバロッティ捜査官のもとに届いたのは、殺人予告の手紙だった。警察の捜査は間に合わず、予告状どおりに死体が発見される。そしてまた新たな予告状が……。スウェーデン推理作家アカデミーの最優秀賞に輝く傑作。	
	著者紹介：1950年生まれ。スウェーデンを代表するミステリ作家であり、その文学性は他の作家の追隨を許さない。ファン・フェーテレン刑事部長シリーズ、バルバロッティ警部シリーズ、その他多くの短編・長編を書いている。1994年、1996年、2007年にスウェーデン推理作家アカデミーの最優秀賞、2000年にガラスの鍵賞を受賞した。	

11	『復讐の女神』 The Shaggy Dog and Other Murders	創元推理文庫
	フレドリック・ブラウン	越前 敏弥 訳
	2021 年 9 月	
	【名作ミステリ新訳プロジェクト】短編を書かせては随一の巨匠の代表的作品集第2弾を新訳！ 『真っ白な嘘』に続いて、思いもよらない奇抜な着想と軽妙なプロットで書かれた名作が勢揃い。中編「踊るサンドイッチ」を含む全11編をどうぞお楽しみください。	
	著者紹介：1906年アメリカ生まれ。新聞社、雑誌社などに勤務のかたわら執筆を開始。1947年刊行のミステリ長編『シカゴ・ブルース』で、翌年のMWA最優秀新人賞を受賞。数々のミステリ、SF、ファンタジーを発表した。代表作は〈エド・ハンター〉シリーズ、『真っ白な嘘』『未来世界から来た男』『天使と宇宙船』『スボンサーから一言』など。1972年没。	

12	『もう耳は貸さない』 Running Out of Road	創元推理文庫
	ダニエル・フリードマン	野口 百合子 訳
		発売中
	かつて凶悪犯を追っていたメンフィス市警の殺人課の元刑事のわたし。89歳になったいま、ラジオ番組のインタビューの申し込みがあった。以前逮捕して、死刑の執行が間近に迫っている殺人犯が、捜査でわたしから暴力を受けたと主張しているというのだ。好評『もう年はとれない』のバック・シャッツ・シリーズ最新作登場！	
	著者紹介：メリーランド大学、ニューヨーク大学ロースクールに学ぶ。ニューヨークで弁護士として働いた後、2012年に『もう年はとれない』で作家デビューを果たし、マカヴィティ賞最優秀新人賞を受賞。同書は、「ハリー・ポッター」シリーズや「シャーロック・ホームズ」シリーズを手掛けた映画プロデューサー・脚本家のライオネル・ウィグルムにより映像化されることが決定している。	

13	Stone Cold ※原題	創元推理文庫
	C・J・ボックス	野口 百合子 訳
		2021年6月
	ワイオミング州知事のルーロンから、暗殺された疑いのある失踪人について、FBIに協力して探ることを命じられたジョー。だが現場近くで友人のネイトが目撃されており……。盟友ネイトと敵対!? 大人気冒険サスペンス〈猟区管理官ジョー・ピケット〉シリーズ最新作！	
	著者紹介：1967年アメリカのワイオミング州生まれ。2001年、猟区管理官のジョー・ピケットを主人公にした『沈黙の森』で作家デビューし、アンソニー賞、マカヴィティ賞、ガムシュー賞、バリー賞各賞の新人賞を受賞した。MWA賞最優秀長編賞を受賞した『ブルー・ヘヴン』のほか、『狼の領域』『鷹の王』『発火点』など著書多数。	

14	Moonflower Murders ※原題	創元推理文庫
	アンソニー・ホロヴィッツ	山田 蘭 訳
		2021年秋
	『カササギ殺人事件』から2年、わたしはクレタ島でホテルの経営に専念していた。そこへ英国のホテルを所有する夫妻が訪ねてくる。そのホテルで起きた事件を解くカギが、アラン・コンウェイのアティカス・ピュントシリーズに隠されているらしいのだが……。『カササギ殺人事件』の続編にして至高の犯人当てミステリが登場！	
	著者紹介：イギリスを代表する作家。ヤングアダルト作品〈女王陛下の少年スパイ！ アレックス〉シリーズがベストセラーに。また、人気テレビドラマ『刑事フォイル』の脚本、コナン・ドイル財団公認のシャーロック・ホームズ・シリーズの新作長編『シャーロック・ホームズ 絹の家』などを手掛ける。アガサ・クリスティへのオマージュ作『カササギ殺人事件』では『このミステリーがすごい!』『本屋大賞〈翻訳小説部門〉』の1位に選ばれるなど、史上初の7冠に輝く。さらにホーソーン&ホロヴィッツ・シリーズ『メインテーマは殺人』『その裁きは死』でもすべてのランキングで1位に選ばれ、3年連続で年末ミステリランキングの完全制覇を達成した。	

15	『手／ヴァランダーの世界』 ※仮題 Handen	創元推理文庫
	ヘニング・マンケル	柳沢 由実子 訳
		2021年6月
	イースタ警察署の刑事ヴァランダーが、同僚が紹介してくれた田舎の物件を見に行ったら、なんと庭から骸骨の手が突き出しているのを発見する……。『霜の降りる前に』のあとの事件を描く中編「手」と、著者自らの手によるシリーズの事件、人名、地名などを網羅した事典を付した、ファン必読の一冊！	

16	<b>A Royal Affair ※原題</b>	創元推理文庫
	アリスン・モントクレア	山田 久美子 訳
		2021年11月
<p>戦後ロンドンで結婚相談所を設立したアイリスとグウェン。ある日、エリザベス王女が思いを寄せるギリシャのフィリップ王子について王室に脅迫状が届いた。王室に勤めるグウェンの頼みで極秘に調査することになったふたりだが……。女性コンピの仕事と謎解き。『ロンドン謎解き結婚相談所』シリーズ第2弾！</p>		
<p>著者紹介：アガサ・クリスティのペーパーバックと、ジェームズ・ボンドものの映画にのめりこんで育った結果、犯罪小説やスパイ小説に夢中になり、現在は歴史の謎めいた断片から着想を得て執筆している。2019年刊行の『ロンドン謎解き結婚相談所』は2021年にシリーズ3作目が刊行される予定。</p>		

17	<b>『短編ミステリの二百年 5』</b> <b>The Long History of Mystery Short Stories Vol.5</b>	創元推理文庫
	グリーン、イーレイ他	小森 収 編／門野 集 他訳
		2021年夏
<p>江戸川乱歩編『世界推理短編傑作集』とは異なる観点から、実作と評論の両面で短編ミステリの歴史をさぐっていく、刺激的で意欲に満ちたアンソロジーの第5巻。本書にはグリーン、フレムリン等の大物イギリス作家、ケメルマン、ヤッフェなどすぐれた謎解き短編の書き手による12編を収録。巻末には編者・小森収の評論を掲載。</p>		
<p>編者紹介：1958年福岡県生まれ。大阪大学人間科学部卒業。編集者、評論家、作家。著書・編書に『はじめて話すけど…』『本の窓から』『ミステリよりおもしろいベスト・ミステリ論18』等がある。また自らも謎解きミステリの短編集『土曜日の子ども』を書いている。</p>		

<b>名作ミステリ新訳プロジェクト刊行予定作品</b>	
アガサ・クリスティ／山田蘭訳 『スタイルズの怪事件』	
アガサ・クリスティ／山田順子訳 『パーカー・パインの事件簿』	
ダフネ・デュ・モーリア／務台夏子訳 『原野（ムーア）の館』	
フレドリック・ブラウン／越前敏弥訳 『復讐の女神』	
小森収編 『短編ミステリの二百年 5』	
小森収編 『短編ミステリの二百年 6』	
	以下続刊

# 国内ミステリ Lineup for 2021 : Japanese Mysteries

- 18 『**大鞠家殺人事件**』 四六判上製
- 芦辺 拓 (あしべ・たく) 2021 年夏
- 大阪の商人文化の中心地として栄華を極めた船場。戦下の昭和18年、婦人化粧品販売で富を築いた大鞠家の長男に嫁ぐことになった陸軍軍人の娘、美禰子。だが夫は軍医として出征することになり、一癖も二癖もある大鞠家の人々のなかに残された美禰子は、やがて一族を襲う連続殺人事件の渦中に巻き込まれることとなり……。
- 著者紹介：1958年大阪府出身。同志社大学法学部卒。86年に小島逸介名義の「異類五種」で第2回幻想文学新人賞に入選。90年、芦辺拓名義で投じた『殺人喜劇の13人』で第1回鮎川哲也賞を受賞しデビュー。『グラン・ギニョール城』『紅楼夢の殺人』『綺想宮殺人事件』『スチーム・オペラ』『奇譚を売る店』『帝都探偵大戦』『鶴屋南北の殺人』など著作多数。
- 19 『**この先の希望**』 ※仮題 四六判仮フランス装
- 阿部 暁子 (あべ・あきこ) 2021 年夏
- 目の前で起きたひったくりの犯人を一緒に追いかけたことから、春風はスモークブルーのマフラーを巻いた高校生、北原錬と出会う。錬に「取り逃したひったくり犯、追おうとしますね」と見抜かれ、即席の素人探偵コンビが誕生し……。『バラ・スター』で注目を浴びた俊英が放つ力作長編！
- 著者紹介：岩手県出身。2008年「いつまでも」（刊行時『屋上ボーイズ』に改題）で第17回ロマン大賞を受賞しデビュー。著書に『鎌倉香房メモリーズ』（全5巻）、『どこよりも遠い場所にいる君へ』『また君と出会う未来のために』『室町繚乱』『バラ・スター』（全2巻）、また咲坂伊緒原作の人気マンガ『ストロボ・エッジ』『アオハライド』のノヴェライズを担当している。『バラ・スター』は《本の雑誌》が選ぶ2020年上半年エンターテインメント・ベスト10の第1位、さらに2020年度文庫ベスト10の第1位に選ばれた。
- 20 『**金木犀と彼女の時間**』【文庫版】 創元推理文庫
- 彩坂 美月 (あやさか・みつき) 2021 年 4 月
- 文化祭の日、クラスメイトの拓末に告白された瞬間に菜月のタイムリープが始まった。菜月は同じ一時間を5回繰り返すはずだったが、その直後、拓末は屋上から墜死してしまう。チャンスはあと4回、それまでに彼の死を止める方法を絶対に見つけなければ——。恋、友情、不安すべてを詰めこんだ鮮やかな学園ミステリ！
- 著者紹介：山形県生まれ。早稲田大学第二文学部卒業。『未成年儀式』で富士見ヤングミステリー大賞に準入選し、2009年にデビュー（文庫化にあたり『少女は夏に閉ざされる』に改題）。2011年刊行『夏の王国で目覚めない』で第12回本格ミステリ大賞候補となる。他の著作に『ひぐらしふる』『僕らの世界が終わる頃』『みどり町の怪人』『向日葵を手折る』などがある。
- 21 『**ボーンヤードは語らない**』 ※仮題 四六判上製
- 市川 憂人 (いちかわ・ゆうと) 2021 年 7 月
- フラッグスタッフ署の名刑事、マリアと漣。ふたりには学生時代に遭遇した事件の顛末に対し、後悔を抱いた苦い過去があった。そんな痛みを抱え警察官になったふたりがバディを組むことになった、“始まりの事件”とは？ 鮎川哲也賞受賞作家が贈る、大人気ミステリシリーズ第4弾は、メインキャラの過去を描いた初の短編集！
- 著者紹介：1976年神奈川県生まれ。東京大学卒。在学時は文芸サークル・東京大学新月お茶の会に所属。2016年『ジェリーフィッシュは凍らない』で第26回鮎川哲也賞を受賞しデビュー。同作は各種年末ミステリベストにランクインし、話題を呼んだ。他の著書に『ブルーローズは眠らない』『神とさざなみの密室』『揺籠のアディポクル』がある。

『 <b>グラスバードは還らない</b> 』【文庫版】	創元推理文庫
市川 憂人（いちかわ・ゆうと）	2021年3月
隠れる場所がないガラス張りの迷宮で起こる、連続殺人の謎。犯人はどこへ消えたのか？ 全ての謎を解く鍵は、不動産王が秘蔵する硝子鳥に!?(マリア&漣) シリーズ第3弾!	
著者紹介：1976年神奈川県生まれ。東京大学卒。在学時は文芸サークル・東京大学新月お茶の会に所属。2016年『ジェリーフィッシュは凍らない』で第26回鮎川哲也賞を受賞しデビュー。同作は各種年末ミステリベストにランクインし、話題を呼んだ。他の著書に『ブルーローズは眠らない』『神とさざなみの密室』『揺籠のアディポクル』がある。	

『 <b>剣崎比留子シリーズ第3弾</b> 』 ※仮題	四六判上製
今村 昌弘（いまむら・まさひろ）	2021年夏
その遊園地には「数ヶ月に一度人が消える」という噂があった。葉村譲と剣崎比留子はとある企業の御曹司の依頼で彼の地を訪れるが、遊園地の奥に佇む洋館で二人が目にしたのは“異形の存在”だった。閉ざされた洋館で起きる連続殺人と無慈悲な暴虐から、葉村たちは生還できるのか。	
著者紹介：1985年長崎県生まれ。岡山大学卒。2017年『屍人荘の殺人』で第27回鮎川哲也賞を受賞しデビュー。同作は『このミステリーがすごい! 2018』、〈週刊文春〉ミステリーベスト10、『本格ミステリ・ベスト10』で第1位を獲得し、第18回本格ミステリ大賞[小説部門]を受賞、第15回本屋大賞3位に選ばれるなど、高く評価される。他の著作にシリーズ第2弾『魔眼の匣の殺人』がある。今最も注目される期待の新鋭。	

『 <b>めぐりと私。</b> 』	四六判並製
大崎 梢（おおさき・こずえ）	2021年4月
移動図書館「本バスめぐりん」との出会いは、利用者たちの屈託を解きほぐしていく。縁のない土地で暮らすことになった規子の、本と共にあった半生を描く「本は峠を越えて」や、18年前になくした本の発見を引き金に当時の出来事が明かされる「昼下がりの見つけもの」など5編を収録。移動図書館ミステリ、シリーズ第2弾。	
著者紹介：東京都生まれ。元書店員。2006年書店で起こる小さな謎を描いた『配達あかずきん』でデビュー。同じシリーズに『晩夏に捧ぐ』『サイン会はいかが?』『ようこそ授賞式の夕べに』がある。『平台がお待ちかね』『背表紙は歌う』『クローバー・レイン』『忘れ物が届きます』『スクープのたまご』『よっつ屋根の下』『もしかして ひょっとして』など著作多数。	

『 <b>影踏亭の怪談</b> 』 ※仮題	四六判
大島 清昭（おおしま・きよあき）	2021年夏
僕の姉は呻木叫子というふざけた筆名で実話怪談を発表している。そんな姉がある冬の日、両目を自分の髪で縫い合わされて昏睡しているという異様な姿で見つかった。調査中だった旅館「影踏亭」にまつわる呪いのためか？ 怪談と謎解きの融合の先にある真の恐怖を描いた、第17回ミステリーズ! 新人賞受賞作家の第1連作短編集。	
著者紹介：1982年栃木県生まれ。筑波大学大学院修士課程修了。現在執筆業。主な著書に『現代幽霊論』『Jホラーの幽霊研究』、共著に〈怪談オウマガドキ学園〉シリーズがある。2020年、「影踏亭の怪談」で第17回ミステリーズ! 新人賞を受賞。	

26	『 <b>天の川の舟乗り</b> 』	四六判並製
	北山 猛邦（きたやま・たけくに）	2021年3月
	怪盗マゼランを名乗る人物から届いた「祭の夜 金塊を頂く」という脅迫状。しかし、実際に起こったのは密室殺人事件だった。奇祭が残る村で起きた事件を描いた表題作をはじめ、世界一気弱な名探偵音野順がいよいよながらも謎を解決する大人気シリーズ第3弾。書き下ろし1編を含む、4つの事件を収録。音野順、最大の事件。	
	著者紹介：1979年生まれ。2002年、『「クロック城」殺人事件』で第24回メフィスト賞を受賞してデビューする。他の著書に『踊るジョーカー』『密室から黒猫を取り出す方法』『少年検閲官』『オルゴリエヌ』『「アリス・ミラー城」殺人事件』『猫柳十一弦の後悔』『私たちが星座を盗んだ理由』『千年図書館』などがある。	

27	『 <b>密室から黒猫を取り出す方法</b> 』【文庫版】	創元推理文庫
	北山 猛邦（きたやま・たけくに）	発売中
	目の前の扉を閉めれば密室が完成するその瞬間、一匹の黒猫が部屋に入り込んでしまった！ 思わぬ闖入者に慌てふためく犯人の焦燥を描いた表題作をはじめ、世界一弱気な名探偵・音野順（とその助手）の活躍を描いた短編5編を収録。	
	著者紹介：1979年生まれ。2002年、『「クロック城」殺人事件』で第24回メフィスト賞を受賞してデビューする。他の著書に『踊るジョーカー』『密室から黒猫を取り出す方法』『少年検閲官』『オルゴリエヌ』『「アリス・ミラー城」殺人事件』『猫柳十一弦の後悔』『私たちが星座を盗んだ理由』『千年図書館』などがある。	

28	『 <b>老い蜂</b> 』 ※仮題	四六判上製
	櫛木 理宇（くしき・りう）	2021年内
	「お年寄りには寂しいんですよ。迷惑なのはわかりますが、あまり邪険にしないでやってください」その警官は困ったように、私に言った。女性たちにつきまとい、嫌がらせをし、生活に侵食してくる謎の老人。警察も周囲の人も真剣に話を聞いてくれない。追い詰められる被害者たちをつなぐ恐るべきミッシングリンクとは？ ストーカー犯罪の恐怖を正面から描く、気鋭渾身の長編ミステリ。	
	著者紹介：新潟県生まれ。2012年『ホーンテッド・キャンパス』で第19回日本ホラー小説大賞・読者賞を、『赤と白』で第25回小説すばる新人賞を受賞してデビュー。主な著書に〈ホーンテッド・キャンパス〉シリーズの他、『死刑にいたる病』『虎を追う』『虜囚の犬』などがある。	

29	『 <b>ドロシイ殺し</b> 』【文庫版】	創元推理文庫
	小林 泰三（こばやし・やすみ）	2021年夏
	〈不思議の国〉の夢ばかり見る大学院生・井森建は、砂漠を彷徨う夢を見る中で、ドロシイと名乗る少女と出会う。彼女は「オズの国」からやって来たたと井森に告げるが……『アリス殺し』シリーズ第3弾。	
	著者紹介：1962年、京都府生まれ。大阪大学大学院修了。95年「玩具修理者」で第2回日本ホラー小説大賞短編賞を受賞し、デビュー。98年「海を見る人」が第10回SFマガジン読者賞国内部門を受賞し、同短編を表題作とした2002年刊行の短編集では、第22回日本SF大賞候補作となった『AΩ（アルファ・オメガ）』に続き、第23回日本SF大賞候補作となる。ホラー、ハードSF、ミステリなど創作のジャンルは幅広い。著書に『大きな森の小さな密室』『アリス殺し』『ある殺人鬼にまつわる備忘録』など著作多数。2020年逝去。	

30	『くお薦さんの神楽坂日記』シリーズ4』 ※仮題	四六判並製
	西條 奈加 (さいじょう・なか)	2021 年内
	商店街で頻発する万引き、消えた石膏像の腕、置き去りにされた兄妹——。秋が訪れた神楽坂で起こる事件の数々を、お薦さんが鮮やかに解決する。粋と人情とおいしい手料理が魅力のくお薦さんの神楽坂日記) シリーズ、待望の第4弾!	
	著者紹介: 1964年北海道生まれ。2005年、『金春屋ゴメス』で第17回日本ファンタジーノベル大賞を受賞してデビュー。2012年『涅槃の雪』で第18回中山義秀文学賞を受賞。2015年『まるまるの毬』で第36回吉川英治文学新人賞を受賞。2020年『心淋し川』で第164回直木三十五賞の候補になる。他の著書に『烏金』『善人長屋』『四色の藍』『朱龍哭く 弁天観音よろず始末記』『千年鬼』『銀杏てならい』など著作多数。	

31	『蝶として死す 平家物語推理抄』	四六判仮フランス装 (ミステリ・フロンティア)
	羽生 飛鳥 (はにゅう・あすか)	2021 年 4 月
	首のない五つの死体からの被害者当て。帝の庇護下にあった寵姫を襲った毒殺事件。——不可思議な謎に挑むのは、平清盛の異母弟にして一族の裏切り者・平頼盛。平安時代ならではの、前代未聞の新しい謎を描いたと話題を呼んだ、第15回ミステリーズ! 新人賞受賞作「屍実盛」など5編を収録。新鋭が贈る歴史ミステリ集。	
	著者紹介: 1982年神奈川県生まれ。上智大学卒。2018年「屍実盛」で第15回ミステリーズ! 新人賞を受賞。2021年、同作を収録した本連作短編集で、筆名を受賞時の齊藤飛鳥より変更してデビュー。また、児童文学作家としても活躍している。	

32	『塔の国』 ※仮題	四六判上製
	真藤 順丈 (しんどう・じゅんじょう)	2021 年秋
	1940年、ロサンゼルスに暮らす日系二世のユラは、ある日息子を誘拐されてしまう。更に、1942年に真珠湾攻撃が発生。国内の日系人は10カ所ある強制収容所に入れられることに。しかしユラは全日系人が10カ所に集められたことをチャンスと捉え、脱走。こうして、ピンカートン探偵社の探偵・バンホーを相棒に、どこかの収容所にいるはずの我が子を探す母親の旅が始まった!	
	著者紹介: 1977年東京都生まれ。2008年『地図男』で第3回ダ・ヴィンチ文学賞大賞を受賞してデビュー。同年『庵堂三兄弟の聖職』で第15回日本ホラー小説大賞を、『東京ヴァンパイア・ファイナンス』で第15回電撃小説大賞銀賞を、『RANK』で第3回ポプラ社小説大賞特別賞を受賞。18年に刊行された『宝島』が第9回山田風太郎賞、第160回直木賞、第5回沖縄書店大賞を受賞。主な著書に『畔と銃』『墓頭』『黄昏旅団』『夜の淵をひと廻り』がある。	

33	『トリカゴ』 ※仮題	四六判仮フランス装
	辻堂 ゆめ (つじどう・ゆめ)	2021 年夏
	強行犯捜査係の森垣里穂子は、殺人未遂事件の捜査中に無戸籍者の共同コミュニティを発見する。そこで暮らす兄妹に話を聞こうと、里穂子は彼らが25年前起きた「鳥籠事件」の被害者ではないかという疑念を抱く。真実を探りたい里穂子だったが、その行動によってささやかなコミュニティの存在を暴露してよいものか葛藤し……。	
	著者紹介: 1992年神奈川県生まれ。東京大学卒。第13回「このミステリーがすごい!」大賞優秀賞を受賞し、『いなくなった私へ』でデビュー。他の著作に『悪女の品格』『卒業タイムリミット』『あの日の交換日記』『十の輪をくぐる』など多数。児童書でも活躍している。	

34	『幽霊が語る時』 ※仮題	四六判
	名取 佐和子 (なとり・さわこ)	2021 年内
	「おはよう。こんにちは。こんばんは。あなたの時間は今、どこにあるのでしょうか？ そして、あなたは誰？」。幽霊屋敷と噂される洋館、その暖炉の隠し棚に残されていた手記から、ひとりの女性の年代記と、現代を生きる僕の謎解きが始まる。気鋭が満を持して贈る、優しさとお掛けに満ちた連作長編。	
	著者紹介：兵庫県生まれ。明治大学卒。ゲームのシナリオを手掛ける傍ら、名取なずな名義で児童書を執筆。2010年『交番の夜』から現名義で活動を始める。2015年『ペンギン鉄道なくしもの係』が第5回エキナカ書店大賞を受賞。主な著書に〈金曜日の本屋さん〉シリーズのほか『江の島ねこもり食堂』『逃がし屋トナカイ』『七里ヶ浜の姉妹』がある。	
35	『卒業したら教室で』	創元推理文庫
	似鳥 鶏 (にたどり・けい)	発売中
	伊神さんに続いて、柳瀬さんの代の卒業式までわずか。そんなある日の放課後、秋野が電気の消えたCAI教室で不思議な生徒がいたと相談にやって来た。どうやら市立七不思議の一つ「兼坂さん」のようだが、果たして葉山くんたちの推理は？ 〈市立高校シリーズ〉最新作！	
	著者紹介：1981年千葉県生まれ。2006年『理由（わけ）あって冬に出る』で第16回鮎川哲也賞に佳作入選、改稿した同作でデビュー。続編の『さよならの次にくる〈卒業式編〉』などとともに〈市立高校シリーズ〉として人気を博す。その他〈楓ヶ丘動物園シリーズ〉、〈戦力外捜査官シリーズ〉、〈難事件カフェシリーズ〉、〈御子柴シリーズ〉がある。	
36	『仕掛島』 ※仮題	四六判
	東川 篤哉 (ひがしがわ・とくや)	2021 年内
	瀬戸内海の孤島に集められた一族の面々。球形展望室を有する奇妙な別荘で遺言状の開封が執り行われた翌朝、相続人の一人が死体となって発見される。折しも嵐によって孤絶した館では、次々と怪事が。目撃される幽霊、鬼面の怪人物、そして人間消失——果てには驚天動地のトリックが待ち受ける！ 本屋大賞作家が放つ待望の長編。	
	著者紹介：1968年広島県生まれ。岡山大学卒。2002年〈KAPPA-ONE〉第1期生として『密室の鍵貸します』でデビュー。2011年『謎解きはディナーのあとで』が2011年本屋大賞を受賞。主な著書に〈烏賊川市〉シリーズのほか、『館島』『放課後はミステリーとともに』がある。本格ミステリ作家クラブ現会長。	
37	『東京ホロウアウト』【文庫版】	創元推理文庫
	福田 和代 (ふくだ・かずよ)	2021 年 6 月
	オリンピック開催直前、物流を狙ったテロが東京を襲う。交通が分断され、食料品は届かず、ゴミは回収されず、陸の孤島と化した東京を救うため、物流のプロ・長距離トラックドライバーたちが、経験と知恵を武器に立ち上がる！ 単行本刊行時、「物流崩壊の危機を描いた予言書」として反響を呼んだサスペンス、待望の文庫化。	
	著者紹介：1967年兵庫県生まれ。神戸大学卒。2007年『ヴィズ・ゼロ』でデビュー。主な著書に〈航空自衛隊航空中央音楽隊ノート〉シリーズのほか『TOKYO BLACKOUT』『バー・スクウェアの邂逅』『バー・スクウェアの矜持』『火災調査官』『サムデイ 警視庁公安第五課』『梟の一族』『緑衣のメトセラ』『キボウのミライ S&S探偵事務所』『BUG広域警察極秘捜査班』『カッコウの微笑み』がある。	

38	『あなたのいないテーブルで デフ・ヴォイス』	四六判並製
	丸山 正樹（まるやま・まさき）	2021 年夏
	2020年新型コロナウイルスの影響は、荒井家、ひいてはろう者にも否応なく降りかかってきた。刑事である妻・みゆきのサポートのため仕事をセーブしていた荒井だったが、ろう者の起こした傷害事件の法廷手話通訳を務めることに。注目の著者が贈る、〈デフ・ヴォイス〉シリーズ第四弾。	
	著者紹介：1961年東京都生まれ。早稲田大学卒。シナリオライターとして活躍ののち、松本清張賞に投じた『デフ・ヴォイス』（文藝春秋、2011年／のちに『デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士』に改題。文春文庫）でデビュー。同作は書評サイト「読書メーター」で話題となり、シリーズ第2弾『龍の耳を君に デフ・ヴォイス』、第3弾『慟哭は聴こえない デフ・ヴォイス』も好評を博す。他の著書に居所不明児童をテーマにした『漂う子』『ワンダフル・ライフ』がある。	

39	『風よ僕らの前髪を』	四六判上製
	弥生 小夜子（やよい・さよこ）	2021 年 4 月
	元探偵事務所員の若林悠紀は、伯母から夫を殺した犯人が、養子である志史でないかを知りたいと相談を受ける。本心を見せない志史の少年時代を辿るうちに、ある一人の少年を巡る、愛憎渦巻く異様な人間関係の深淵を悠紀は覗くことになる——圧倒的な筆力で選考委員を感嘆させた第30回鮎川哲也賞優秀賞受賞作。	
	著者紹介：1972年神奈川県生まれ。東京都在住。白百合女子大学卒。第1回および第5回創元ファンタジイ新人賞の最終候補となった後、『風よ僕らの前髪を』で第30回鮎川哲也賞優秀賞を受賞。	

40	『あなたも名探偵』	四六判仮フランス装
	市川 憂人（いちかわ・ゆうと）、米澤 穂信（よねざわ・ほのぶ）、東川 篤哉（ひがしがわ・とくや）、麻耶 雄嵩（まや・ゆうたか）、法月 綸太郎（のりづき・りんたろう）、白井 智之（しらい・ともゆき）	発売中
	謎を愛し論理を貴ぶ読者の方々は、問題編までの文章を読んで真相に辿り着くことができるでしょうか。事件を解決に導くために必要な手掛かりは、紙上の名探偵たち同様、皆様にも既に手渡されています。6人の推理作家からの挑戦状は、たった一文——犯人は誰か？ 豪華作家陣が贈る犯人当て小説アンソロジー。	

41	『日本ハードボイルド全集（全7巻）』 ※仮題	創元推理文庫
	北上 次郎（きたがみ・じろう）、日下 三蔵（くさか・さんぞう）、杉江 松恋（すぎえ・まつこい）	2021 年 4 月
	第二次世界大戦後、独自の発展を遂げた日本のハードボイルド／私立探偵小説。その歴史に大きな足跡を残した作家の傑作を集成する。各巻には解説のほか、私淑する著名作家によるエッセイを収録予定。1巻：生島治郎『死者だけが血を流す／淋しがりやのキング』巻末エッセイ：大沢在昌 2巻：大藪春彦 3巻：河野典生 4巻：仁木悦子 5巻：結城昌治 6巻：都筑道夫 7巻：アンソロジー。	

## ファンタジイ Lineup for 2021 : Fantasies

- |   |  |         |
|---|--|---------|
| 42  | <p><b>『クマとサヨナキドリ』 ※仮題</b><br/> <b>The Bear and the Nightingale</b></p>       | 創元推理文庫  |
| <p>キャサリン・アーデン                      金原 瑞人、野沢 佳織 訳</p>  |  | 2021年8月 |
| <p>冬に閉ざされたモスクワ大公国。その北部の領主ピョートルの次女ワーシャは、森を駆けまわるのが好きな、活発な女の子だった。ある日彼女は森で無気味な二人の男に出会う。その場は怖くなって逃げたが、この出会いがワーシャの、さらには大公国の運命を大きく変えることに……。〈冬の王〉3部作第1弾。</p>                                    |  |         |
| <p>著者紹介：米国テキサス州オースティン生まれ。モスクワで教育を受け、フランスのアルプスの学校で教えたりハワイの農場で働いたりしたのち作家に。このWinternight Trilogy3部作の第1作The Bear and the Nightingaleでデビューして一躍人気に。現在はバーモント州在住。</p>                           |  |         |
| 43  | <p><b>『少女と少年と海の物語』</b><br/> <b>Girl. Boy. Sea.</b></p>                       | 四六判上製   |
| <p>クリス・ヴィック                      杉田 七重 訳</p>  |  | 2021年5月 |
| <p>そのヨットには七人の少年が乗っていた。だが、激しい嵐で転覆。救命ボートに乗り損なったビルは、小さなボートで漂流中、同じく漂流している一人の少女を救出する。アーヤと名乗る少女とビルは乏しい食料を分け合い、心を通わせる。だが二人に刻々と死の危険が……。カーネギー賞最終候補作。</p>   |  |         |
| <p>著者紹介：バース大学でYA文学の創作を専攻して文学修士号を取得。現在は教職につきながら創作を続け、クジラとイルカの保護活動を行う慈善活動にも携わっている。</p>  |  |         |
| 44  | <p><b>『エドワード・ケアリー短編集』 ※仮題</b></p>  | 四六判上製   |
| <p>エドワード・ケアリー                      古屋 美登里 訳</p>   |  | 2021年7月 |
| <p>本国で発表され、単行本未収録の8編（『おちび』のスピノフ的な短編含む）＋『もっと厭な物語』（文春文庫）収録の「私の仕事の邪魔をする隣人たちにに関する報告書」に著者書き下ろしの短編5編を加えた、日本オリジナル編集の短編集。著者書き下ろしイラストも多数収録。ケアリーらしさがぎゅっと詰まった、ファン垂涎の作品集。</p>                       |  |         |
| <p>著者紹介：1970年にイングランド東部のノーフォーク州で生まれる。これまでに長編小説『望楼館追想』、『アルヴァとイルヴァ』、『アイアマンガール三部作』、『おちび』を発表。イラストレーター、彫塑家としても国際的に活躍。現在はアメリカ合衆国テキサス州で妻と子供ふたりと暮らしている。妻はアメリカの作家エリザベス・マクラッケン。</p>                |  |         |
| 45  | <p><b>『キャクストン私設図書館』 ※仮題</b><br/> <b>Night Music - Nocturnes Volume 2</b></p> | 四六判     |
| <p>ジョン・コナリー                      田内 志文 訳</p>  |  | 2021年5月 |
| <p>読書好きの男が発見した〈キャクストン私設図書館&amp;書物保管庫〉。そこは初版本や手稿本が集められた図書館であり、アンナ・カレーニナ、ホームズ、ハムレットなど、有名になりすぎたために実体化した登場人物たちのすみかでもあった……。表題作ほか、『裂かれた地図書』という奇書をめぐる物語などを収録した、「本」にまつわる奇妙な短編集！</p>             |  |         |
| <p>著者紹介：1968年アイルランド生まれ。犯罪小説、ホラー、ファンタジーなどを執筆。1999年のデビュー作『死せるものすべてに』はブラム・ストーカー賞とバリー賞にノミネートされ、シェイマス賞を受賞。2014年に本書収録の「キャクストン私設図書館&amp;書物保管庫」でエドガー賞とアンソニー賞最優秀短編賞を受賞。主な著作に『失われたものたちの本』がある。</p> |  |         |

- 46
- |  |        |         |
|--|--------|---------|
| 『夜の獣、夢の少年』 ※仮題<br>The Night Tiger  |        | 創元推理文庫  |
| ヤンシー・チュウ   | 坏 香織 訳 | 2021年5月 |
| ダンスホールで働くジーリンが客の男のポケットから偶然抜き取ったのは、ガラス容器入りの干からびた人間の指。気持ち悪いので持ち主に返そうとしたのだが、探し当てた男は死亡していた。その指は病院の看護婦から手に入れたお守りらしい。ジーリンは病院に潜り込むのだが……。英国植民地マラヤを舞台にした、東洋幻想譚。 |        |         |
| 著者紹介：中国系マレーシア人。ハーバート卒。The Ghost Brideでデビュー。本書は2作目。   |        |         |
- 47
- |   |         |         |
|---|---------|---------|
| 『魔術師ペンリック 2』 ※仮題<br>Penric's Mission and Other Novellas   |         | 創元推理文庫  |
| ロイス・マクマスター・ピジョルド  | 鍛治 靖子 訳 | 2021年6月 |
| 魔の存在にもなじみ、神殿魔術師となっていたペンリックだったが、ある使命を与えられセドニア国に密かに潜入する。何者かの罠にはまり、いったんは捕らえられるも、魔の力を借りて脱出するが……。異国でのペンリックの受難と活躍を描く中編3編を収録。ヒューゴー賞シリーズ部門を受賞した〈五神教シリーズ〉最新作。      |         |         |
| 著者紹介：1949年アメリカ生まれ。86年に『名誉のかげら』でデビューしたのち、わずか数年でヒューゴー賞、ネビュラ賞を次々と受賞。一躍その地位を確固たるものにした。マイルズ・ウォルコシガンを主人公にしたスペース・オペラ・シリーズのほか、〈五神教シリーズ〉〈死者の短剣四部作〉など、ファンタジイの著作も多い。 |         |         |
- 48
- |   |  |           |
|---|--|-----------|
| 『久遠の島』 ※仮題  |  | 四六判仮フランス装 |
| 乾石 智子 (いぬいし・ともこ)  |  | 2021年10月  |
| 大フォト連合王国には、〈久遠の島〉と呼ばれる魔法の島があり、そこでは世界中のあらゆる書物を見ることができた。あるとき、ひとりの王子が島を訪れた。魅力的で、島を守る氏族の少年ともすぐに仲良くなったが、それが悲劇の始まりだった。〈オーリエラントの魔道師シリーズ〉最新作。   |  |           |
| 著者紹介：山形県生まれ。1999年教育総研ファンタジー大賞受賞。著書に『夜の写本師』『魔道師の月』『太陽の石』『オーリエラントの魔道師たち』『紐結びの魔道師』『沈黙の書』『赤銅の魔女』『白銀の巫女』『青炎の戦士』『イスランの白琥珀』『闇の虹水晶』『滅びの鐘』などがある。 |  |           |
- 49
- |   |  |                    |
|---|--|--------------------|
| 〈紐結びの魔道師〉3部作 (『赤銅の魔女』『白銀の巫女』『青炎の剣士』) 【文庫版】  |  | 創元推理文庫             |
| 乾石 智子 (いぬいし・ともこ)  |  | 発売中・<br>2021年6月・9月 |
| 魔道帝国イスリルの魔道士軍団に襲われ、館を捨てて逃げた紐結びの魔道師リクエンシスと相棒のリコ、友人の剣士マーセンサスは、1500年前に滅んだオルン魔国をめぐる呪いを解こうとする赤銅色の髪を持つ少女に出会う。招福の魔道師エンズと仲間たちの冒険を描く〈オーリエラントの魔道師〉シリーズ初の3部作文庫化。 |  |                    |
| 著者紹介：山形県生まれ。1999年教育総研ファンタジー大賞受賞。著書に『夜の写本師』『魔道師の月』『太陽の石』『オーリエラントの魔道師たち』『紐結びの魔道師』『沈黙の書』『赤銅の魔女』『白銀の巫女』『青炎の戦士』『イスランの白琥珀』『闇の虹水晶』『滅びの鐘』などがある。               |  |                    |

50	『海に咲く花』 ※仮題	四六判仮フランス装
	菅野 雪虫 (すがの・ゆきむし)	2021年8月
	ある王国の田舎町に学者が住んでいた。学者には息子が二人おり、兄は賢く、弟は美しく評判だった。あるとき、第二王子が学者を家庭教師にと招いた。学者は喜んで教えたが、王子に反乱の疑いがかけられ、学者も投獄されてしまう。幼い兄弟は……。〈天山の巫女ソニン〉シリーズで人気の著者の書き下ろし長編。	
	著者紹介：福島県出身。2002年「橋の上の少年」で北日本新聞社主催の第36回北日本文学賞を受賞。2005年『天山の巫女ソニン1 黄金の燕』で第46回講談社児童文学新人賞を受賞しデビュー。2007年、同作で第40回日本児童文学者協会新人賞を受賞する。	

51	『羅刹の都』 ※仮題	創元推理文庫
	松葉屋 なつみ (まつばや・なつみ)	2021年秋
	『星砕きの娘』から遡ること数百年、敷島国では天人の子孫といわれる大王のもと、平穏な日々が続いていた。次期大王候補を決める儀式の日、候補者のひとり白珠は都にいないはずの鬼を見る。白珠はそのために位を追われ、自ら志願して鬼の巣窟と言われる旧都に向かう……。第4回創元ファンタジー新人賞受賞作に続く第2弾。	
	著者紹介：静岡県出身。筑波大学卒業。『歌う峰のアリエス』でC★NOVELS大賞を受賞し、C★NOVELS Fantasiaにて同書を刊行。『沙石の河原に鬼の舞う』で第4回創元ファンタジー新人賞受賞（刊行時に『星砕きの娘』に改稿）。	

## SF Lineup for 2021 : Science Fiction

- |   |   |                           |
|---|---|---------------------------|
| 52  | <p><b>『マードーボット・ダイアリー ネットワーク・エフェクト』 ※仮題</b><br/> <b>Network Effect</b></p>                         | 創元 SF 文庫                  |
| <p>マーサ・ウェルズ</p>   |   | 2021 年内                   |
| <p>〈弊機〉ことマードーボットは、調査遠征でメンサー博士の娘を警護中、突如として正体不明の宇宙船から攻撃を受ける……大人気『マードーボット・ダイアリー』につづく、第2弾にしてシリーズ初の長編。好評のあのキャラクターも再登場！</p>   |   |                           |
| <p>著者紹介：1964年テキサス州フォートワース生まれ。〈マードーボット・ダイアリー〉シリーズ第1話「システムの危殆」で2018年ヒューゴー賞・ネビュラ賞・ローカス賞の各ノヴェラ部門を受賞、第2話「人工的なあり方」で2019年ヒューゴー賞・ローカス賞の各ノヴェラ部門をふたたび受賞。</p>  |   |                           |
| 53  | <p><b>『オベリスクの門』 ※仮題</b><br/> <b>The Obelisk Gate</b></p>  | 創元 SF 文庫                  |
| <p>N・K・ジェミシン</p>  |   | 2021 年春                   |
| <p>「第五の季節」と呼ばれる破局的災害により、文明が滅ぶ歴史を繰り返してきた世界。この世界には、地球と通じる能力を持つゆえに差別される「ロガ」と呼ばれる人々がいた。ロガのひとりエッスンとその生き別れた娘は、過去の超技術「オベリスク」を巡る戦いにその身を投じる。3年連続ヒューゴー賞受賞作、待望の第2部。</p>  |   |                           |
| <p>著者紹介：1972年米国アイオワ州生まれ、ブルックリン在住。メリーランド大学カレッジパーク校で教育学の修士号を取得。2002年に小説を発表し始める。2010年のデビュー長編『空の都の神々は』で翌年のローカス賞第一長編部門を受賞。2015年の『第五の季節』に始まる〈破壊された地球〉3部作で、前人未踏の3年連続ヒューゴー賞長編部門受賞を達成（第3部The Stone Skyではネビュラ賞長編部門も受賞した）。</p> |   |                           |
| 54  | <p><b>『未知なる自由を夢に求めて』 ※仮題</b><br/> <b>The Dream-Quest of Vellite Boe</b></p>                       | 創元 SF 文庫                  |
| <p>キジ・ジョンソン</p>   |   | 2021 年内                   |
| <p>猫の町ウルタールの女子カレッジ学生クラリーが、「覚醒する世界」からやってきた「夢見る人」と駆け落ちした。教授のヴェリットは彼女を追い、焔の神殿を目指して旅に出る。『霧に橋を架ける』のキジ・ジョンソンがH・P・ラヴクラフトの世界をベースに描く現代ファンタジイ。ヒューゴー賞・ネビュラ賞・ローカス賞候補作。</p>  |   |                           |
| <p>著者紹介：1960年アイオワ州生まれの女性SF・ファンタジー作家。短編「スパー」で2010年ネビュラ賞受賞。短編「ボニー」で2011年ネビュラ賞受賞。中編「霧に橋を架ける」で2013年ヒューゴー賞、ネビュラ賞を受賞。</p>   |   |                           |
| 55  | <p><b>『過ぎにし夏、マーズ・ヒルで エリザベス・ハンド傑作選』</b><br/> <b>Last Summer at Mars Hill and Other Stories</b></p> | 四六判仮フランス装<br>(創元海外 SF 叢書) |
| <p>エリザベス・ハンド</p>  |   | 2021 年 4 月                |
| <p>余命わずかな元スミソニアン博物館学芸員のため、幻の飛行機械の動画を再現しようとする友人たちが遭遇した奇跡、大女優の血筋を引く6人兄弟の末弟と6人姉妹の末妹が屋敷の屋根裏で出会う不思議……ネビュラ賞や世界幻想文学大賞を受賞した作品ばかり4編を収めた、不世出の天才作家による抒情SF選集。</p>   |   |                           |
| <p>著者紹介：1957年ニューヨーク州ヨンカーズ生まれ。1988年に作家デビュー。中編「過ぎにし夏、マーズ・ヒルで」で1995年ネビュラ賞・世界幻想文学大賞を受賞。中編「イリリア」で2008年世界幻想文学大賞を受賞。短編「エコー」で2008年ネビュラ賞を受賞。中編「マコーリーのペレロフォンの初飛行」で2011年世界幻想文学大賞を受賞。</p>                                       |   |                           |

56	『フレドリック・ブラウンSF短編全集4 最初のタイムマシン』 From These Ashes	四六判上製
	フレドリック・ブラウン	安原 和見 訳
	発売中	
<p>奇抜な着想、軽妙な語り口で、短編を書かせては随一の名手。1963年には『未来世界から来た男』で創元SF文庫の第1弾を飾ったフレドリック・ブラウン。その多岐にわたる活躍の中から、111編のSF短編すべてを完全新訳で年代順に収めた全4巻の決定版全集。完結編となる第4巻には「回答」「猫恐怖症」など、68編を収録。</p> <p>著者紹介：1906年アメリカ生まれ。新聞社、雑誌社などに勤務のかたわら、執筆を開始。1947年刊行のミステリ長編『シカゴ・ブルース』で、翌年のMWA最優秀第一長編賞を受賞。多くのミステリ、SF、ファンタジーを発表した。代表作は〈エド・ハンター〉シリーズ、『通り魔』『不思議な国の殺人』『3、1、2とノックせよ』『まっ白な嘘』『未来世界から来た男』『天使と宇宙船』『スポンサーから一言』など。1972年没。</p>		
57	『異星の空の声』 ※仮題 Echoes of an Alien Sky	創元 SF 文庫
	ジェイムズ・P・ホーガン	内田 昌之 訳
	2021 年夏	
<p>失われた地球文明を調査している金星文明は、月の裏側で発見された謎の建造物を調べるため、科学調査団を地球に派遣した。果たしてこの建造物は何のために作られたのか？ 金星に生命が発生するはるか以前に滅びた地球文明の謎とは？ 『星を継ぐもの』の巨匠が2007年に著した傑作、待望の邦訳！</p> <p>著者紹介：1941年、英国ロンドン生まれ。1977年に一気に書き上げた長編『星を継ぐもの』でデビュー。同書は日本に翻訳紹介されると同時に爆発的な人気を博し、翌年の星雲賞を受賞。さらに『創世記機械』『内なる宇宙』でも同賞を受賞。現代ハードSFの旗手として幅広い読者を獲得した。2010年没。</p>		
58	『レイヴンの奸計』 ※仮題 Raven Stratagem	創元 SF 文庫
	ユーン・ハ・リー	赤尾 秀子 訳
	2021 年初夏	
<p>隣国ハフンの本格的侵攻が始まった。ジェダオは六連合の艦隊の一つを乗っ取り、ハフンと戦いはじめる……。数学を用いて物理法則を超越する科学体系が普及し、異質な社会体制が確立した遠未来を舞台に、敵味方入り乱れた虚々実々の戦いを描く宇宙SFの第2部。ヒューゴー賞候補作。</p> <p>著者紹介：1979年テキサス州ヒューストン生まれ。コーネル大学で数学を専攻し、スタンフォード大学で数学教育の修士号を取得。初長編『ナインフォックスの覚醒』（2016）でローカス賞第一長編部門受賞、ヒューゴー賞・ネビュラ賞候補となる。FtMのトランスジェンダー男性でクィアであり、夫・娘とともにルイジアナ州で暮らしている。</p>		
59	『パワードスーツ SF 傑作選 この地獄の片隅に』 Armored	創元 SF 文庫
	ジャック・キャンベル、アレステア・レナルズ 他／ジョン・ジョゼフ・アダムズ 編	中原 尚哉 訳
	発売中	
<p>パワードスーツ、パワードアーマー、人型歩行メカ——〈彷徨える艦隊〉のジャック・キャンベル、〈啓示空間〉のアレステア・レナルズら豪華執筆陣が、古今のSFを華やかに彩ってきたコンセプトをテーマに描く、書き下ろし全12編の傑作SFアンソロジー。加藤直之入魂のカバーイラストと扉絵12点も必見！ 解説＝岡部いさく</p> <p>編者紹介：1976年アメリカ生まれの編集者、ジャーナリスト、評論家。2008年から20冊以上のアンソロジーを編纂し、2011年にはヒューゴー賞短編編集者部門の候補にもなった、アメリカSF・FT界を代表する目利きのひとり。2015年～2020年には自らの名を冠したSF・FTレーベル、ジョン・ジョゼフ・アダムズ・ボックスの編集主幹を務めた。</p>		

60	『 <b>ノーマンズ・ソサエティ</b> 』 ※仮題	四六判仮フランス装 (創元日本 SF 叢書)
	秋田 禎信 (あきた・よしのぶ)	2021 年内
	記憶をリセットする技術が発達し、不都合があればすぐに以前的人格と記憶を捨て、新たな人間に生まれ変わることが常識となった近未来。なぜか何回リセットしても、お互いに関する記憶を思い出してしまう少年と少女は、廃棄処分を逃れて追われる身となる。〈魔術士オーフェン〉の著者が描く、SF長編。	
	著者紹介：1973年東京都生まれ。1991年、17歳で応募した『鬼の話』で第3回ファンタジア長編小説大賞に準入选。翌年に同作を改訂、改題した『ひとつ火の粉の雪の中』でデビュー。代表作〈魔術士オーフェン〉シリーズは累計1000万部を超える大ヒットとなる。他の著書に『カナスピカ』『機械の仮病』『ハンターダーク』『ハルコナ』などがある。	
61	『 <b>四分の一世界旅行記</b> 』	四六判上製
	石川 宗生 (いしかわ・むねお)	2021 年 4 月
	2017年初夏。短編の原稿を携え、作家・石川宗生は日本を脱した。中国、パキスタン、キルギスタン、ウズベキスタン、アゼルバイジャン、ジョージア、アルメニア、トルコ、ブルガリア、ギリシャ、マケドニア、セルビアを約半年かけて周遊。現実と虚構を自由自在に旅して回る、空前絶後のセミ・フィクション旅行記。	
	著者紹介：1984年千葉県生まれ。オハイオ・ウェスリアン大学卒。2016年「吉田同名」が第7回創元SF短編賞を受賞、翌年には第48回星雲賞の参考候補作に選出される。18年「白黒ダービー小史」が第49回星雲賞の参考候補作に、同年刊行された『半分世界』が第39回日本SF大賞最終候補作に選出される。20年には『ホテル・アルカディア』が第30回Bunkamuraドゥマゴ文学賞を受賞した。	
62	『 <b>感応グラン = ギニョル</b> 』 ※仮題	四六判仮フランス装 (創元日本 SF 叢書)
	空木 春宵 (うつぎ・しゅんしょう)	2021 年夏
	『繭の見る夢』で第2回創元SF短編賞佳作を受賞、『Genesis 白昼夢通信』収録の「地獄を縫い取る」が『ベストSF2020』(竹書房)に収録されて話題となった空木春宵、待望の初作品集。	
	著者紹介：1984年、静岡県生まれ。駒澤大学文学部国文学科卒。2011年、平安朝を舞台にした言語SF「繭の見る夢」が第2回創元SF短編賞の佳作となる。19年、『ミステリーズ!』vol.96の怪奇幻想特集に幻想ホラー「感応グラン = ギニョル」を発表。また同年、書き下ろし時間SFアンソロジー『時を歩く』に古典落語をモチーフにしたSF幽霊譚「終景累ヶ辻」を、『Genesis 白昼夢通信』に室町時代に実在したとされている遊女・地獄太夫に材をとった「地獄を縫い取る」を発表。後者は竹書房の年刊ベストアンソロジー『ベストSF2020』にも収録された。20年、『Genesis されど星は流れる』に「メタモルフォシスの龍」を発表。21年前半に初の作品集を刊行予定。	
63	『 <b>神々の歩法</b> 』 ※仮題	四六判仮フランス装 (創元日本 SF 叢書)
	宮澤 伊織 (みやざわ・いおり)	2021 年夏
	西暦2030年、砂に埋もれ廃墟と化した紫禁城へ、米軍の戦争サイボーグ部隊の精鋭12名が突入した。神のごとき超人、エフゲニー・ウルマノフを倒すために――第6回創元SF短編賞受賞作から始まる連作集、書き下ろしを加えてついに刊行。	
	著者紹介：秋田県生まれ。制作プロダクション〈冒険企画局〉所属。2011年、『僕の魔剣が、うるさい件について』でデビュー。2015年、「神々の歩法」で第6回創元SF短編賞を受賞。他の著作に〈裏世界ピクニック〉シリーズ、『そいねドリーマー』などがある。	
64	『 <b>Genesis 4</b> 』 ※仮題	四六判並製
	アンソロジー	2021 年 8 月
	2018年12月、新しい書き下ろしSFアンソロジーシリーズとして産声を上げた《Genesis》。2021年版でも若手からベテランまで多彩な執筆陣が競演する。第12回創元SF短編賞受賞作を掲載予定。	

## その他 Lineup for 2021 : Other Genres

- |   |   |                     |
|---|---|---------------------|
| 65  | <p><b>『地中のディナー』</b><br/> <b>Dinner at the Center of the Earth</b></p> | 四六判<br>(海外文学セレクション) |
| ネイサン・イングラダー   |   | 小竹 由美子 訳            |
| 2021年4月   |   |                     |
| ネゲブ砂漠にある秘密基地の独房で、長年ふたりきりで親交を結んできた囚人Zと“看守”。Zはなぜ閉じ込められ、“看守”に監視されているのか？ ユダヤ系アメリカ人の学生だったZの数奇極まりない人生とは。『アンネ・フランクについて語るときに僕たちの語ること』が激賞された現代最高の書き手のひとりによる奇妙な物語。  |   |                     |
| 著者紹介：1970年、ニューヨーク州ロングアイランドのユダヤ教正統派コミュニティに生まれ、敬虔なユダヤ教徒の少年として成長。ニューヨーク州立大学在学中に初めてイスラエルを訪問。非宗教的知識人の存在にカルチャーショックを受け、やがて棄教。小説を書きはじめる。おもな著書に長篇小説The Ministry of Special Cases、短篇集For the Relief of Unbearable Urges (PEN/マラマッド賞、スー・カウフマン新人賞受賞)。 |   |                     |
- 
- |  |  |         |
|--|--|---------|
| 66   | <p><b>『はじまりの24時間書店』</b><br/> <b>Ajax Penumbra 1969</b></p> | 四六判上製   |
| ロビン・スローン   |  | 島村 浩子 訳 |
| 発売中  |  |         |
| ときは1969年。大学図書館員の青年ペナンブラ氏が数百年ものあいだ行方不明の貴重な書物を探してサンフランシスコを訪れるところから始まる、終日休まず営業する小さな書店を舞台にした、本にまつわるもうひとつの不思議な物語。〈二十四時間書店〉の誕生秘話も語られる、『ペナンブラ氏の24時間書店』前日譚。  |  |         |
| 著者紹介：アメリカの作家。ミシガン州出身。ミシガン州立大学卒業後、ジャーナリスト養成学校やテレビ局等で働く。2004年には情報社会の未来を予想したFlashムービー「EPIC 2014」を共同製作して話題を呼んだ。2012年、Webで発表した作品をもとにした『ペナンブラ氏の24時間書店』で作家デビュー。ほかの作品に『はじまりの24時間書店』『ロイスと歌うパン種』などがある。 |  |         |
- 
- |   |  |                           |
|---|--|---------------------------|
| 67  | <p><b>『メトロで本を読む少女』 ※仮題</b><br/> <b>La Fille Qu'ilisait Dans le Metro</b></p> | 四六判仮フランス装<br>(海外文学セレクション) |
| クリスティヌ・フェレ＝フルリ  |  | 河野 万里子 訳                  |
| 2021年秋  |  |                           |
| 孤独なジュリエットは、メトロでの読書と、周りの読書する人々の観察で気をまぎらせていた。稀覯本マニアの男、数学の本を読む学生、ロマンスの247ページで泣く女……。ある日、いつもと違う駅で降りた彼女は人に本を紹介して、その人の人生を変えるという不思議な父娘（おやこ）に出会う。そして……。巻末に引用書籍リストあり。 |  |                           |
| 著者紹介：フランスの老舗出版社ガリマールの児童書部門の元編集者。その後、児童書、ヤングアダルト向けの作品を書き始め、1999年に一般文芸の執筆も始めた作家。  |  |                           |
- 
- |  |   |                       |
|--|---|-----------------------|
| 68   | <p><b>『グレゴワールと老書店主』</b><br/> <b>Grégoire et le vieux libraire</b></p> | 四六判上製<br>(海外文学セレクション) |
| マルク・ロジェ  |   | 藤田 真利子 訳              |
| 発売中  |   |                       |
| 落ちこぼれ青年グレゴワールが勤め先の老人介護施設で出会ったのは、元書店主の本をこよなく愛するピキ工老人だった。読書の、朗読の指南を受け、無縁だった本の世界の虜（とりこ）となったグレゴワール。本は人と人を繋ぐこと、そして老いるということの真実を、軽やかでそれでいて胸に響くタッチで描く傑作。 |   |                       |
| 著者紹介：1958年マリ生まれ。朗読家。1992年以來の公共図書館等での朗読活動で、本と人をつなぐことに貢献したとして、2014年に、リーヴル・エブドの賞を受賞。本書は作家デビュー作。   |   |                       |

69	『アメリカのシャーロック・ホームズ 殺人、法医学、アメリカのCSIの誕生』※仮題 American Sherlock: Murder, Forensics, and the Birth of American CSI	四六判上製
	ケイト・ウィンクラー・ドーソン	高山 祥子 訳
	2021年5月	
	アメリカでの科学捜査のパイオニアとして、鑑識技術を犯罪捜査に用いて大きな成果を上げ、“アメリカのシャーロック・ホームズ”と称されたエドワード・オスカー・ハインリッヒ。彼が手掛けた事件を紹介しながら、誤算や誤解に苦しみながらも、犯罪捜査をアメリカに初めて導入した経緯を描く傑作ノンフィクション！	
	著者紹介：本書がデビュー作となるジャーナリスト、TV番組のプロデューサー。	

70	『小鳥と狼のゲーム 第二次世界大戦を勝利に導いたボードゲームと女性たち』※仮題 A Game of Birds and Wolves: The Ingenious Young Women Whose Secret Board Game Helped Win World War II	四六判
	サイモン・パーキン	野口 百合子 訳
	2021年10月	
	1942年、イギリス軍は大西洋でドイツ軍のUボートに苦しめられていた。デーニッツ提督率いるUボート戦隊は、英国船団の護衛ラインの内側に侵入し、魚雷攻撃を仕掛けてきていたのだ。なぜUボートに負け続けるのか？ その謎を解明するため〈ラズベリー〉作戦が立案され、海軍婦人部隊がその任に当たった。17歳から21歳ほどの女性たちは、ボードゲームを用いて、Uボートがどのような作戦をとっているのかを解明していく——。映画化決定の傑作ノンフィクション！	
	著者紹介：英国の作家・ジャーナリスト。『ニューヨーカー』『オブザーバー』で執筆。現在はウェスト・サセックスに在住。	

71	『アリス、アリス、アリス！』	A5 判上製
	ひらいたかこ	2021年3月
	創元推理文庫のミステリ作品の装画や、磯田和一のコンビの楽しい旅の絵本シリーズで読者を魅了し続けた傍ら、『マザーグース』や『不思議の国のアリス』を描き続けてきたイラストレーター・ひらいたかこの〈アリスの世界〉集大成。美しい色彩と、独特の線描が魅力の美しい一冊。新たなアリス像を発見できます。	
	著者紹介：1954年生まれ、武蔵野美術大学（油絵科）卒業。主な絵本・画集に『ある朝ジジ・ジャン・ボウはおったまげた』『マザーグース・ショーケース』『ひらいたかこのアンデルセンドリーム』『ディア マザーグース』『クリスティ』『魔女の隠れ家』、共著に『グリムありますか』『アンデルセンください』『マザーグースころんだ』などがある。	